

满铁研究中心资料丛书

解学诗 宋玉印 编

满铁内幕文书

第十八卷

社会科学文献出版社
SOCIAL SCIENCES ACADEMIC PRESS (CHINA)

研究中心资料丛书



社会科学文献出版社
SOCIAL SCIENCES ACADEMIC PRESS (CHINA)

胶济与沧石铁路

第十八卷

满铁内幕文书

解学诗

宋玉印

编

图书在版编目 (CIP) 数据

满铁内密文书 / 解学诗, 宋玉印编. — 影印本. — 北京:
社会科学文献出版社, 2015.5
ISBN 978-7-5097-6978-2

I. ①满… II. ①解… ②宋… III. ①南满洲铁道股份
公司 - 文献资料 - 选编 IV. ① K265.610.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2015) 第 000224 号

满铁内密文书 (影印)

编 者 / 解学诗 宋玉印

出 版 人 / 谢寿光

项目统筹 / 宋月华 李建廷

责任编辑 / 宋月华 李建廷 马续辉 宋淑洁

出 版 / 社会科学文献出版社·人文分社 (010) 59367215

地址: 北京市北三环中路甲 29 号院华龙大厦 邮编: 100029

网址: www.ssap.com.cn

发 行 / 市场营销中心 (010) 59367081 59367090

读者服务中心 (010) 59367028

印 装 / 北京京华虎彩印刷有限公司

规 格 / 开 本: 787mm×1092mm 1/16

印 张: 1319 幅 数: 21104 幅

版 次 / 2015 年 5 月第 1 版 2015 年 5 月第 1 次印刷

书 号 / ISBN 978-7-5097-6978-2

定 价 / 28900.00 元 (全三十卷)

本书如有破损、缺页、装订错误, 请与本社读者服务中心联系更换

■ 版权所有 翻印必究

本卷所辑文书解说

本卷所辑文书，是满铁在华北参与占领和窃取两条重要铁路——山东胶济铁路和沧石铁路问题的史料。前者由德国修筑，第一次世界大战期间被日本接管，华盛顿会议后交还中国；后者，满铁虽与中方签定协定，但未实行，兴中公司成立后与中方谈判，因事变而作罢。两条铁路的经过，反映了日本对华北的积极侵略，和满铁对华北经济与资源的侵占。全书共辑录满铁十一项内密文书，供读者参考研究。

一八九七年十一月初，德国以两名传教士在曹州府被害为借口，占领胶州湾，一八九八年三月与中国签署《胶澳租借条约》，取得山东胶州湾至济南铁路修筑权，及铁路沿线两侧各三十公里以内的矿山开采权，以及其他权益。一八九九年六月一日和十月一日，德国先后设立山东铁道公司和山东矿山公司。一八九九年铁路开始修筑，一九〇四年六月，胶州湾的青岛至济南四〇〇公里干线建成。矿山方面，经过长时间多方调查，到一九一一年才着手坊子、淄川、金岭镇等煤矿的事业。一九一三年一月一日决定，铁路及矿山两公司合并，并于一九一四年决定将炼铁部设于沧州，未及开业，欧战爆发。一九一四年九月十五日，日本对德宣战，十一月七日占领青岛，随即占领山东全部铁路。此时，满铁总裁中村雄次郎上书政府，要求担任山东铁路、矿山、港口、海运等经营，把山东变为第二满洲，胶济铁路变为第二条南满铁路，为此特派藤田虎力理事带数百社员进入山东铁路和矿山，光是进入胶济铁路者即达八十人以上，还在青

岛设立了出張所。在一九一八年的巴黎和会上，日本获得了德国在山东的权益；但是，一九二年初的华盛顿会议上，因中国强烈要求，日本于二月四日与中国缔结了《山东悬案条约》，「日本将胶州湾德国的租界地交还中国」，「日本应将青岛济南铁路及其支线并一切附属产业，包括码头、货栈及他项同等产业等项，移交中国」，但中国须偿还铁路之现实价值，而在未偿还前，须采用日本人运输主任和会计主任各一人。关于矿山，规定由中日合办公司经营。日方成立山东矿业会社，满铁成为重要股东，一九三三年投股百分之四十四，是最大股东。经营坊子、淄川、金岭镇等矿山的中日合办公司——鲁大公司，本店设青岛，资本一千万元，第一次实缴二百五十万元，中日各半，直到「七七」事变。

日本侵占山东铁路固然是为了掠夺山东资源，但是，它的着眼点不只是山东，华北巨大煤炭埋藏量使他眼红。一九一八年十月日本就叫做「用中国丰富的煤田补给解决是唯一无二的方法。」同年九月二十八日，日本政府还迫使中国政府与其签署了《济顺高徐二铁路借款预备合同》，迫使中国承认山东省济南至直隶省顺德间和山东省高密至江苏省徐州间铁路，该二线当时虽未实现，但它反映了日本延长胶济铁路的强烈愿望。津浦铁路沧州经过河间、祁州到京汉铁路石家庄的沧石铁路，也是日本极力意欲修筑的铁路，它可以将山西的丰富煤炭，不经京汉线和津浦路，直接由石家庄送至沧州。因此，外资和中国政府多次计划修筑，均因故而罢。一九二八年中国方面与满铁进一步策划修筑，满铁以每年可以运出山西煤一百万吨为条件同意修筑，于是用华昌公司的名义与中方签订合同。但是也正是这一百万吨的煤炭对日出口并不确实，而使合同成为画饼。兴中公司成立后，日本痛感「有必要在华北确保一条属于自己的铁路，于是想到实现沧石铁路的问题。」但是经过研究认为，津石铁路有种种优点，如设有码头，天津有日本租界和中国驻屯军司令部，天津、塘沽和大沽都是河港，将来必将在大沽、塘沽或大清河等处修筑海港等，故决定变沧石铁路为津石铁路。建设契约当事者改为满铁设立的兴中公司，于一九三六年底，由华北日军向冀察政务委员会委员长宋哲元提出修筑建议，不料南京政府对之强烈反对，宋哲元「陷于进退维谷不知所措的境地，乃至借口前往山东乐陵扫墓为名逃避达月余」，这期间「七七」事变爆发。日本沧石铁路计划失败于冀察政务委员会没有实现「亲日化」，相反随着南京政府的中央化反日倾向抬头；「七七」事变后，由于日本迅速占领全华北，夺取全部铁路交通，他们从侵略利益出发，没有再提出沧石铁路的修筑。

本卷目录

一 山东胶济铁路

山铁事业概要

..... 二

山东铁路延长线问题及日本煤炭自给策

..... 五〇

铁道部事业概况摘录

..... 九〇

胶济铁路沿革概要

..... 一一〇

以青岛为中心的铁路网

..... 一三九

二 沧（津）石铁路问题

..... 一六三

关于沧石铁路的经过

..... 一六四

关于沧石铁路问题及山东铁路延长线问题之件

..... 三一五

关于沧石铁路借款

..... 三四五

关于津石铁路磋商会报告

四〇七

关于津石铁路委员会兴中契约附属换文

四一一

津石铁路建造计划案及参考资料

四二一

一
山东胶济铁路

Ba K2. 1-11

489

山鐵事業概要

山鐵事業概要

大正六年八月調

山東鐵道は膠州灣の咽喉に位せる青島を起點として山東省の主府濟南に至る二百四十四哩九分の幹線と、博山支線二十四哩二分、淄川炭鑛線四哩計二百七十三哩一分を有す。線路は概ね平坦にして峻險の個所なしと雖も、河川多く大小千二百六十九を算し、其の主なるものは白沙河、太沽河、濰河、淄河等にして夏季動もすれば水害を免れず。本線は青島より膠州灣に沿ひ、迂餘曲折して膠州に至り、高密を経て漸く山岡地帯に入り濰縣に達す。之より以西は黃河流域の大平源と泰山山脈の分界地點を走り、周村附近に至り山脈を横斷して濟南方面に西漸す、即ち幹線中の最高地點は王村驛附近にして標高百五十八米突なり。又博山支線は張店より分岐し、淄川より孝婦河の左岸に出で、河谷に沿ひて登り博山に至る。博山は標高百七十九米突四十にして全線中最高地點に在り。

幹線中青島附近租借地帯及膠州間は土地磽确にして果樹以外には生育よろしからざる。膠州以西は丘陵に沃にして、殊樹籬縣、濟南間は黃河流域の沖積層より成り、地味稍々膏腴、農産物も多種多様に富み、其の富を以て稱せられ、寔に本鐵道中の寶庫なり。今(一)沿線の狀況、(二)沿革及組織、(三)線路及車輛、(四)工場、(五)運輸、(六)營業成績、(七)鑛山、(八)衛生、教育其の他等に分ちて順次略述すれば左の如し。

(一) 沿線主要地概況

青島 山東半島の一角なる嶗山山脈の蜿蜒起伏たる勝景を背にし、白沙青松の間一仙寰區を劃す、是即ち青島なり。此の地元一漁村に過ぎざりしも、獨逸が十有七年間巨萬の資を投じ無限の努力を以て完全なる市街を建設し、海陸の聯絡道路、水道、下水、電燈其の他百般の設備に至らざるなし。市街は東北イルナス山麓より起り、ピスマーケ山を負ひ、海岸に沿ひて大碼頭に盡く。其の延長里餘に及び純然たる歐風建築にして、赤瓦、白壁の大厦高樓は深緑滴る計りの樹林に圍繞せられ風景謂はん方なし。現在戸數約九千六百戸、人口約四萬五千人、内邦人の在留するもの約壹萬六千人に達す。(奥地に移動多き爲め人口正確ならず)此の地は支那四百餘洲中第一の健康地と稱せられ、例年の平均温度最高

華氏九十度に達せず、最低同二十度を降ること稀なり。夏季は清涼にして外國人の上海又南部支那より避暑に來るもの多く、有名なる海水浴場は現今忠海と稱し、白沙遠く連り、水淺く且つ清くしてビーチ・ホテルあり、音楽堂あり、無數の脱衣小舎五彩を帶び宛然畫幅に似たり。青島は中部支那に於ける吞吐港として、内地、臺灣、朝鮮及南北支那諸港との間に定期航路あり。輸入品の大宗は綿絲、綿布、石油、燐寸、木材、砂糖、米、紙、煙草等にして、輸出品の大宗は鹽、石炭、銅塊、落花生、生油、棉花、麥稈眞田、蔬果、生牛、獸皮、各種農産物等なり。

城陽 古來史上に顯著なる即墨の門戸にして縣内屈指の蔬菜市場たり。近年生牛の產出多きを加ふ。

膠州 千數百年來膠州灣内唯一の貿易市場として鳴る。人口約三萬人と稱す。山東沿岸及南北支那諸港との間に民船の往復絶えず、殷賑を極めたる地なりしも、青島港の發展に壓せられ逐年衰退に向へり。輸入品の大宗は紙類にして輸出品は麥稈眞田、柞蠶絲、落花生、生油、豆油、鹽豚、蔬菜、果實等なり。

高密 人口約二萬人と稱す。讀書人の淵藪地にして嵌銀匠を以て名あり。

蚌埠 桐材及濰河流域に産する落花生の集散地なり。

坊子 獨逸の盛に經營せる坊子炭礦の所在地なり。同炭礦は鑛山會社が始め多大の望を囑し、鉅資を投じて内外の設備を完成し、千九百十二年以來採炭し來りたるも、漸次掘進するに及び處々に火山岩に因る地層の擾亂斷層に遭遇し、炭質も不良にして千九百十二年頃より遂に之を廢坑と爲すに決し、其の設備を漸次淄川炭礦に移す計劃なり。占領後に在りては全然作業を爲さず、唯一時煉炭製造の試験を爲したるのみなりしが本年六月以降殘存可採炭利用の計畫を立て目下三名（二箇所）の鑛業家をして其の採掘を請負はしめ居れり。

此の地は守備隊の所在地として邦人の居留するもの二百餘名に及ぶも著しき物資を産せず。

濰縣 省内有數の都市にして人口約十萬人と稱す。濟南、芝罘間の大道、其の他南部山東に通する要衝にして殊に北方渤海灣に近接して交通の便あり。此の地方の物資としては葉煙草を主とし、其の他雜穀、果實、木材、獸毛皮等あるも其の數多からず。又地方の花弁盆栽は青島、北京兩方向に出して愛翫せらるゝ雖も、極めて微々たるものなり。唯運輸交通上

の利便なるより、遠く主要なる地方の特産物即ち大豆、麥、生牛、落花生、麥稈、棉花、豚毛等を集中し、或は加工して輸出するの盛況は沿線中に於ける一市場たるを失はず。

停車場附近に支那の兵營あり、内に飛行機學校を設く。又城外に米國長老派に屬する一大教會あり、病院及び學校を附屬す、約七千人の信徒を有すと云ふ。

青州 明朝發祥の地にして滿洲旗軍の駐屯地として知らる、人口約三萬五千人と稱す。附近に古跡勝蹟多し。物資は絹絲、絹布を主とし胡桃、杏實、干柿等を出す。

淄河店 附近十五支里に三齊の一都臨淄縣あり。沿線上古墳王陵甚だ多し。此の地方回々教徒多く其の數四千人に上ると云ふ。

金嶺鎮 此の地一帯の鐵鑛は火山岩噴出の爲め現出したるものにして、往古より土人間に知られ其の採掘は既に數百年前に在り。獨逸は十數年に亘りて鑛脈の調査に従ひ其の價值を確認したるを以て開鑛に決し、製鐵所設置の計畫と共に坑口の掘鑿に著手し、掘進半にして戰役の爲め遺棄せり。鑛質は一般に磁鐵鑛にして、往々褐鐵鑛に變化せる所あり。含有鐵分は概して百分の六十以上にして全鑛區の鑛量大約一億噸と稱せらるゝも誇大に失するの嫌あるものゝ如し。目下當部に於て試鑛調査中なり。

張店 博山支線の分岐點にして首要驛の一たり。濰縣、周村に通する大道に位ひし人口約三千人と稱す。邦人の居住するもの二百餘名、多くは制錢買に従事するものなり。

淄川炭鑛 博山支線淄川驛より分岐して四哩の位置に在り。獨逸は坊子炭鑛の爲めに多大なる失敗を招きたるを以て本鑛區を以て之に代へ、本線上唯一の鑛區として漸次坊子の設備を移し全力を傾注して採炭作業の發展を企圖せり。炭山の全面積は百八十六平方吉米突にして其の中獨逸人の試鑛調査範圍(百三十平方吉米突)内の存在炭量約八億噸を以て稱せらる。炭坑は該炭田の中央に位し。探掘豫定面積約十六平方吉米突にして炭量約七千二百萬噸なりとす。炭質は良好にして、夾雜物少なく含灰分適度にして硫黃の含量多からず、上層は有煙炭にして中層はコークスに適し下層は純無煙炭なり

各炭層の厚さ不同にして三十五珊米より一米突半に及ぶものあり。

現今當部に於て採炭するものは淄川坑、マルタ坑の二箇所にして、一日平均約千四百噸を出し鐵道及び軍用の外沿線地の需要に應じ且内地及南北支那諸港へ輸出せらるゝもの激増せるを以て、近く獨逸時代に半成中のヘーテル坑を掘鑿し出炭力を倍加するの必要あり。淄川炭の將來は最も刮目に値すべし。

博山 北部山東より南部地方に通ずる要衝にして有數なる都邑なり。人口約三萬人と稱す。古來陶器竝に硝子製造の最も發達したる所にして、外に石炭を産し沿線中濟南に次ぐの出貨力を有す、石炭は古來土方稼業によりて採掘せられ、地方一帯の炭田恰かも蜂窩狀を呈す。最近年額約十五六萬噸に過ぎざるも、一定の販路を確保せる爲め從來淄川炭の勁敵を以て目せられたり。

博山に於ける工業の發達は原料及び燃料の豊富なるに在り。陶磁器も亦之に依りて疾く其の名を爲すに至れり。其の他硫黃、染料及び煉瓦等の製造頗ぶる盛にして將來の發展大いに見るべきものあるべし。

周村 長安縣内唯一の鄉鎮にして、人口約七萬人屈指の商業市場たり。古來絹絲、絹布を以て著はる、從つて機業最も盛なり。羊毛も亦近年重要品として算せらる。

普集 附近に有名なる巫山あり、標高四百九十米突、古來道教の古刹として知られ眺望天下隨一と號す。

明水 明水湖の勝景を以て著はる、此の邊に至りて初めて水田を見る、又養豚業盛なり。

黃臺 省城東門外に在り、之より分岐して黃臺橋に至る。同所は小清河水道の終點にして濰口、濟南に通じ、羊角溝方面よりする民船常に輻輳す。水道の主要貨物は鹽及び大豆なり。

濟南 當鐵道の終端にして津浦線との連絡地なり。黃河の南岸に沿ひ南泰山の支脈を界とし平地に市街を爲す。人口約二十五萬人と稱す。邦人の居留するもの約二千人。城外の商埠地は各國人の居留せる所にして歐風建築多し。本府は山東省の首府にして支那四百餘州中最も古き歴史を有す、從つて名所舊蹟頗ぶる多し。其の人口に膾炙するもの舜田、舜井堯船、禹堤、桓公繫馬臺、使君林、釣魚臺等にして、城外の手佛山は市街を一眸裡に收め四時遊客を絶たす。又太明湖は

周圍十清里久旱尙は渴るゝことなく、湖面の蓮花は夏季遊客を引くこと頻りなり。此の地水脈に富み古來百井の稱あり、隨所に湧出せる清水は合して小清河に注ぎ、貿易民船を浮べて市中より直に渤海灣に出入すべく、黃河の大運河と兩々相俟ちて水運の便盛に、陸には山東、津浦の二大鐵道ありて交通至便、北は天津、北京、南は浦口、南京より楊子江に連絡し、東は膠青を控へ芝罘に結んで萬貨雲集す。當鐵道中第一の出貨市場にして將來益々有望の地とす。

(二) 沿革及組織

獨逸は夫の有名なる地質學者フエルチナンド・フォン・リヒトホーフエンの調査に依りて疾く山東省の有望なるに囑目し、先づ此處に立脚地を獲得せんとして虎視眈々たりし際、偶々兗州府に於ける獨逸宣教師殺害事件の突發したるに乗じ、疾風迅雷の勢を以て膠州灣を占領し、武力的威嚇と巧妙なる外交手段とに依りて、遂に千八百九十八年三月膠州灣租借及鐵道敷設並に鑛山探掘に關する獨清條約を締結したり。山東鐵道會社は翌千八百九十九年六月資本金五千四百萬馬克を以て設立せられ、同年九月工事に著手し、千九百四年に至り青島、濟南間三百九十五杆、博山支線三十九杆を完成せしめて運輸營業を開始し、千九百十三年一月山東鑛山會社を合併して資本金六千萬馬克と成り以て日獨開戰に至れり。

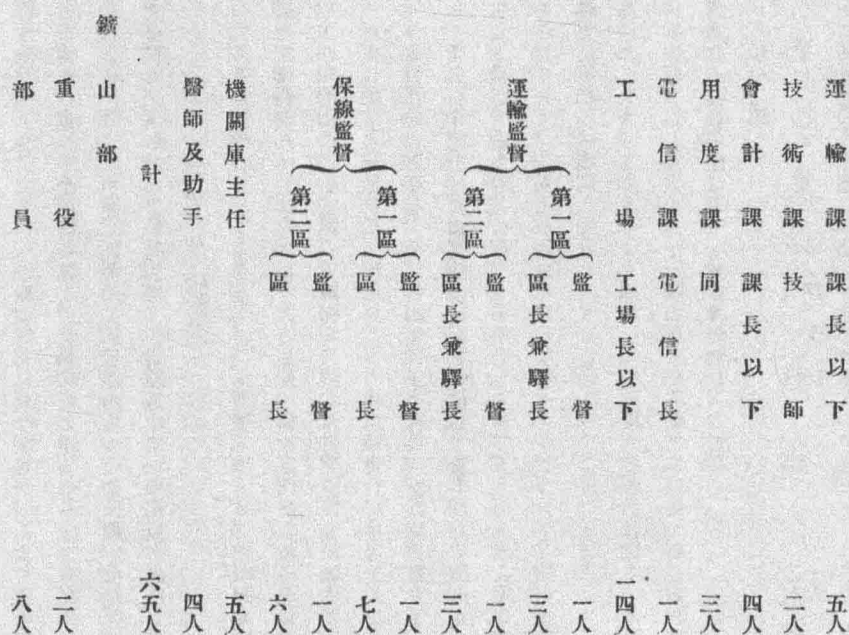
會社の組織は監查役二十六人、其の任期五箇年にして毎年五人づゝ順次交代す。取締役は監查役之を任命し其の數六人、内三人は伯林本社に在り。青島の取締役は鐵道技師ヒルデブランド、鑛山技師ブリュッヘル、營業部長シュミッドにして、各獨立して伯林首席取締役の指圖を受けたり。

従事員の大部は之を土著の支那人中より採用し、獨逸國人の職員は成るべく其數を減じて以て營業費の節約を旨とせり。鐵道の如きは本支線を通じて大小六十一驛ありと雖も獨逸人にして驛長の職に在りしものは僅かに六人のみ、今當時の記錄に依り獨逸人たる職員の配置表を示せば次の如し。

鐵道部

重役室	二人 (内一人鑛山部兼務)
秘書役	一人
書記及記錄課	一人
記錄係	

五



測量師 一人
 同助手 一人
 坊子炭鑛 炭鑛長以下 二人
 魯山炭鑛(現在の淄川炭鑛) 同 三人
 金嶺鎮鐵鑛 技師 一人
 賣炭出張員 一人
 醫師及助手 三人
 小學校訓導 一人
 計 七一人
 總計 一三三人

大正三年十一月本鐵道の我軍の占領に歸するや臨時鐵道聯隊之を管掌し、各驛長及乘務員は下士卒を以て之に充て、別に滿鐵會社より派遣せる營業擔任者八十餘名を以て運輸業務に當らしめたり。山東鐵道管理部は大正四年三月二十四日其の編成を終へ。同月二十八日臨時鐵道聯隊より一切の業務を繼承したるものにして、現在の分課及従事員の配置を示せば左の如し。(大正六年七月末現在)

區分	階級	職制	從事員				計	
			奏任	判任	臨時雇員及囑託	備員	日本人	支那人
部長	理事	理事は部長の命を承け部長を補佐し各課工場(兼一)鐵山の運搬及業務の進捗を計るものとする	×	待遇	日本人	支那人	日本人	支那人
庶務課	庶務	機密、人事、文書の往復、保管、規定額の編纂、宿舍、其の他の主管に關せざる事項	(兼一)	七	二七	一	一八	一八
調査課	調査	財産の整理、土地建物の貸借、諸般の調査及統計に關する事項	(兼一)	一	五	四	二	二二
營業課	營業	運輸、營業、聯絡運輸、車輛の配給に關する事項	(兼一)	一五二	一三七	三八	一一〇	五五二
							四〇一	五九〇
								九九一

七

汽 車 課	車輛及列車の運轉、車輛の保管、検査、補修及鐵道の通信、信號、保安裝置に關する事項	二(兼三)	六九	五四	八	一二七	四二七	二五二	四三五	六八七
工 務 課	鐵道及運送物の新設、改良、補修、通信、信號機の建設、保存、發電所の作業等に關する事項	五(兼一)	兼一	四一	三二	二二六	四二一	三〇四	四二一	七二五
會 計 課	豫算、決算、金銭の出納、保管等に關する事項	一	九	七	七	五	二	二二	二	二四
用 度 課	物件の購買、配給、保管及處分に關する事項	二	九	一六	一	一六	五三	四三	五三	九六
衛 生 課	衛生及診療に關する事項	二	四	五七	一	二三	四一	八六	四一	一二七
工 場	車輛其他機器の設計、製作及補修に關する事項	二	一四	一二	一	一〇九	七四六	一三七	七四六	八八三
鐵 道	附屬鐵道に關する事項及石炭其の他礦産物の配給販賣及調査に關する事項	四	二六	二四	一	四五	八一六	九九	八一六	九一五
計		二五	三四	二三七	一	四七	六八三	一〇七八	一、四二一	三、一五五

備考 ×印は勲任待遇(部長)なり

括弧内は業務にして計に算入せず

地方機關としては工務課所屬として青島、坊子、濟南に保線監督を置き、汽車課所屬として青島、高密、坊子、張店、濟南に車輛係長を置き、停車場は獨逸時代の六十驛中五十四驛を開き、各職員を配置せり。又醫院は青島、四方工場、坊子、淄川炭鑛、濟南に設置し、小學校は淄川炭鑛にのみ當部專屬のものを設置し、張店及坊子には日本人會の設置せる小學校に補助を與ふ。

(三) 線路及建造物

(イ) 線路 延長

現在の線路は廣軌單線なるも將來必要なる複線用地を有し之に應ずる如く路盤を構築しあり、其の延長左の如し。

本 線	青島 濟南間	三九五・二〇〇
坊子炭坑支線	坊子坊子炭坑間	二〇・二九〇
博山支線	張店博山間	三九・二〇〇
淄川炭鑛線	淄川淄川炭鑛間	六・六五〇

(此の線は目下營業せず)